

(公社) 日本地すべり学会関東支部 令和4年度現地検討会 開催報告 「譲原地すべりの概要と地すべり対策工」

1. 実施概要

本年度は、関東地方整備局利根川水系砂防事務所のご協力を得て「譲原地すべりの概要と地すべり対策工」を対象とした現地検討会を実施しました。

譲原地すべりは、群馬県南部に位置する大規模な地すべりであり、現在まで様々な対策工が行われております。また全国でも数少ない「地すべり資料館」の一つ（譲原防災センター）があります。今回の現地検討会では、譲原地すべりの概要と対策施設等を見学し、地すべりへの理解を深めることを目的に開催しましたので、報告します。

- (1) 開催日：令和4年11月18日（金）
- (2) 開催場所：譲原防災センター（群馬県藤岡市譲原1722-1）他
- (3) 主催：(公社) 日本地すべり学会 関東支部
- (4) 協力：関東地方整備局利根川水系砂防事務所
- (5) 参加人数：20名

2. 検討会の内容

最初に、譲原防災センター内にて展示施設を見学し、地すべりの概要や譲原地すべりの特徴などを学びました。隣接する集水井施設へは横穴から集水井に向けて入り、集水井の構造を真横から見学することができました。

午後は、複数台に分かれて同乗した車にて移動し、下久保ダム堤体方面から、譲原地すべり全景を見渡し、斜面の状況について見学しました。その後、アンカー工の施工現場の見学をしました。生憎、アンカー工の施工中の状況は見学できませんでしたが、山間部でのアンカー工施工におけるアンカー打設方向のICTの利用など最先端のお話を伺うことができました。最後に、2号排水トンネル内見学を行いました。「排水トンネル」自体が非常に珍しい地すべり対策工法である上に、入坑して地下水排除工を間近で見学でき非常に貴重な経験をすることができました。

今回は、譲原地すべりを題材に、地すべりの概要や複数の地すべり対策工の現場など、地すべりについて一通りの内容を見学し、若手技術者にも大変わかりやすく良い経験をする事ができたと考えております。

3. おわりに

関東支部では、今後も現場に密着した講習会や現地検討会や学生・若手技術者の育成をテーマとした活動を実施していく予定です。

最後に、講習会の開催にあたり、御協力頂いた関東地方整備局利根川水系砂防事務所の皆様、また、現場案内など頂いた関係者各位には大変お世話になりました。こ

こに記して、厚く御礼申し上げます。



写真-1 利根川水系砂防事務所による地すべり資料館内会議室での譲原地すべりの説明



写真-2 排水トンネル内にて記念撮影

(関東支部幹事会 樽角晃)